

自然エネルギーで地域間を結ぶ

Donuts Tokyo 2 周文佳

自然エネルギーをめぐる 地方と都心部の課題

- 電力需要は都心部に集中。
- 自然エネルギー(太陽光 風力 地熱 バイオマスなど)の発電拠点は多くが地方に。



都心部の人が自然エネルギーを導入する際、地方の発電所に供給を頼る

しかし、地方の活性化に寄与できていない

- 発電所が地域の迷惑施設となったり
- 地域外出資が多く、利益が地域に還元されない

東京都、日本全体の再生可能エネルギーの拡充にとってもマイナス

都市と地方に互恵的な、自然エネルギーのあり方を探る

ヒントを得るために浪江町へ。

顔の見える関係性が大切

浪江町視察からの気づき

金銭を取引する関係だけでは原発の時と同じ構造。

→災害が起きたら、何か発電所設置によって不都合が起きたら、発電を請け負った地方がひたすら損を被る構造。

人同士の関係も生まれて、エネルギーを介して繋がった他方が抱える課題に対して他人事ではなく、お互い助け合える仕組みだといいな

信頼関係を築ける交流を生み出そう

- たとえば

23区の学校の子どもたちが、東京都の公的施設や事業者が再エネを購入している契約先の自治体に行って、その学校の子どもたちと、毎年自然環境やエネルギー、発電施設を題材に一緒に遠足したり、スポーツで仲良くなる機会。

地域発電力と、東京に拠点を置く企業の連携

- 浪江町でみた、スマモビなどの実装
- 大丸有企業の再エネ導入の課題



東京に拠点を置く企業が小さな地域発新電力と、まとまって接点をもてる場の構築。

地域に根付いたかかわりをもつ！（そこでの実証実験や、季節的なオフィスをつくるなど）